

ちゃんと かわら版 恵庭

恵庭市内のインフラ整備や地域の安心安全を守る活動を展開している恵庭市建設業協会(宮内光則会長)と、恵庭まちづくり協同組合(齋藤一史理事長)合同の「安全祈願祭」が4月24日、豊栄神社(大町3)で執り行われました。両団体の会員や来賓ら31人が参列し、今年度の無事故・無災害を祈願しました。

神事では修祓、祝詞奉納、鈴祓に続いて玉串奉奠(ほつてん)が行われ、宮内会長や来賓の原田裕恵庭市長ら参列者が玉串を奉納。2礼2拍手1札の作法にのっとり祈りを捧げていました。



主催者を代表し、宮内会長が「昨年の安全成績を振り返ってみますと、おかげさまで大きな事故は1件も報告されていません。各企業の努力のたまものだと思います。我々建設業は

豊栄神社で「安全祈願祭」 恵庭市の建設2団体が無事故・無災害を祈願



災害の多い業種だと言われているが、一年無事故・無災害でまた良い春を迎えようと思います。よろしくお願いいたします」とあいさつしました。

また、来賓の原田市長が「皆さま方には恵庭のインフラを守っていただき、心から感謝を申し上げます。安全が何よりも重要であり大切だと思います。社員の皆さま方がそれぞれ家族のもとへ無事故で安全に帰れるよう願っています。危険を伴う業種ですが、それを軽減することが大切です。皆さまが頑張っているおかげで市民が安心して暮らせます。重要な仕事をしている皆さまに改めて、今年度が安全であるよう願っています」と謝辞を述べ、両団体のますますの発展と、まちづくりへのさらなる協力を呼び掛けました。

(編集部 大谷)



スパル農園でイチゴ狩り
子ども発達支援センターの子どもたちが摘みたてを味わう

恵庭市の子ども発達支援センターに通う子どもたちが参加するイチゴ狩りが4月17日、スパル建設(柏木町2、齋藤一史代表取締役)敷地内のスパル農園で行われ、子ども8人とその保護者10

人が参加しました。参加者は、甘みが強く酸味が少ないという特徴を持つ「とちおとめ」のみずみずしい摘みたてを味わい、中にはイチゴの果汁で手と顔を真っ赤にして夢中で食べる子どもの姿

もありました。このイベントは同センターに通う子供たちにイチゴ狩りを楽しんでもらおうと、2011(平成23)年に「恵庭のこどもを支援する会」の斗澤正樹さんが発案し、齋藤社長の協力のもとで始まりました。2019(平成31)年からコロナのため中止となっていました。今年に入り再開。開催10回目となりました。

初めてイチゴ狩りを体験した合田唯さんは「とても甘くておいしいので、イチゴが好きな娘も、楽しんでたくさん食べていました」と話していました。娘の衣純さん

(編集部 大谷)

ヤングケアラー 講習会開催

柏陽中学校生徒が必要な支援を学ぶ

家族の介護や家事を日常的に担う18歳未満の「ヤングケアラー」について理解を深める講習会が4月24日、恵庭市立柏陽中学校(前田真志校長)で開催。北海道ヤングケアラー相談サポートセンター(江別)の加藤高一郎センター長が講師を務め、全校生徒約290人がヤングケアラーについて学びました。



恵庭市では今年、行政や学校、企業や関連団体が連携してヤングケアラーを含むケアラー(無償介護者)に適切な支援を行うことを定めた「ケアラー支援条例」を施行。同講習会は市のケアラー支援事業の一環で開催されました。

全国調査では、各クラスに1・2人ヤングケアラーがいるという結果が出ていることを示しました。さらに、他人に話せず一人で抱え込んでしまう場合が多いことを説明。「ケアラーに対し最も必要なことは声を掛けること、話を聞くこと。ケアラーは誰かに悩みや状況を話すことが大切」と話しました。「頑張りすぎて、自分を追い込まないでください。自分も大切に、認めてあげ

ることが大事です。応援してくれる周りの人たちもいるので、先生や信頼できる大人、ヤングケアラー相談サポートセンターにご相談ください」とアドバイスして締めくくりました。

講習後、生徒会長の朝戸菜月さん(3年)は「自分もいつ大変な状況になるかわからないので、ヤングケアラーについて日頃から調べ、頼れる人を作りたい」と話しました。同講習会は12月までに、市内小中学校9校で開催される予定です。

えにわ 社協 がれおいたより



マスコットキャラクター「スマイリー」

社会福祉法人恵庭市社会福祉協議会
恵庭市末広町124
電話 33-9436、32-0007

No.49 あったまーるポイント 新規登録者説明会

恵庭市社会福祉協議会(以下、恵庭社協)が恵庭市より受託している、あったまーるポイント事業(恵庭市介護支援ボランティアポイント事業)の新規登録者説明会を開催します。

この事業は生きがいづくりや地域での支え合いを目的としており、恵庭市内に住む65歳以上の介護認定を受けていない方(要支援1・2は可)が、指定する施設等で活動をするポイントがもらえる仕組みになっています。

また、貯まったポイントは年間50ポイント5000円を上限に換金または恵庭社協もしくは恵庭市に寄付をすることができます。

あったまーるポイントは、恵庭社協事業推進課窓口で随時登録が可能ですが、直近の新規登録者説明会に参加してもらう事が必須となっております。次回の予定は次のとおりです。



- 日程/令和6年5月21日(火) 13時30分~15時30分
- 会場/恵庭市福祉会館 2階 大会議室 (恵庭市末広町124)
- 内容/①認知症サポーター養成講座 90分
- ②ボランティアについて 30分



認知症サポーター養成講座では、認知症の種類や症状、認知症の方との関わり方などを細かく説明します。また、ボランティアについては、ボランティアの基礎知識だけでなく、登録施設も詳しく紹介をしているので、どこで活動したいか悩んでいる方は説明を聞いてから活動場所を決めることも出来ます。興味のある方や説明会だけでも受けたいという方はぜひ恵庭社協事業推進課(TEL 32・0007)までご連絡ください。皆さんのご参加お待ちしております。